

2011年 2月 8日
東日本旅客鉄道株式会社
公益財団法人東日本鉄道文化財団

「はやぶさ～鉄道と宇宙～」展の開催について

「はやぶさ～鉄道と宇宙～」展は、東北新幹線E5系「はやぶさ」と小惑星探査機「はやぶさ」が夢の実現に向けた軌跡をたどるダブル公開イベントです。

JR東日本の東北新幹線E5系「はやぶさ」は、2011年3月5日(土)、国内最高レベルの速さと快適性を備え、東京～新青森間で運行を開始します。

宇宙航空研究開発機構の小惑星探査機「はやぶさ」は、2010年6月13日(日)、小惑星イトカワからサンプルを採取して帰還するという世界で初めての偉業を成し遂げ、多くの人に感動を与えるとともに、地球の起源の解明などに寄与することが期待されています。

それぞれの「はやぶさ」に共通することは、最先端の技術を取り入れ、多くの困難を乗り越えて夢を実現させたことです。

「はやぶさ～鉄道と宇宙～」展では、それぞれの「はやぶさ」の軌跡をたどりながら、開発された最先端の技術を中心に、日本の技術力と取り組みをご紹介します。

- 会 期 2011年3月2日(水)～ 5月8日(日)
- 会 場 鉄道博物館2F スペシャルギャラリー1
- 入 館 料 一般1,000円(800円)、小中高生500円(400円)、幼児(3歳以上未就学児)200円(100円)
()内は、団体(20人以上)料金
スペシャルギャラリー内も入館料のみでご覧いただけます。
- 主 催 鉄道博物館(公益財団法人東日本鉄道文化財団)
- 協 力 独立行政法人宇宙航空研究開発機構、東日本旅客鉄道株式会社
- 主な展示内容 別紙

主な展示内容

展示内容

1 「はやぶさ」とは ～名前の由来～

E5系「はやぶさ」は、最速達列車となることからスピード感がありより多くのお客さまに親しんでいただけるものとして、小惑星探査機「はやぶさ」は、小惑星のサンプルを採取する様子が、狩りをする鳥類のハヤブサを連想されることから名づけられました。ここでは、それぞれの「はやぶさ」の由来と概要についてご紹介します。

[展示資料]

「はやぶさ」の名前の由来と概要紹介パネルなど



E5系「はやぶさ」シンボルマーク



小惑星探査機「はやぶさ」©JAXA

2 「はやぶさ」の軌跡 ～鉄道と宇宙～

鉄道における「はやぶさ」と宇宙における「はやぶさ」の軌跡をたどり、様々な歴史や多くの困難を乗り越えたエピソードなど資料や写真を用いてご紹介します。

[展示資料]

「はやぶさ」の軌跡紹介パネルなど



東北新幹線E5系「はやぶさ」



M-Vロケットによる打ち上げ©JAXA
鹿児島県内之浦町(現:肝付町)

- 3 「はやぶさ」の技術 ～日本人独特の発想による技術と技術者の熱意～
鉄道における「はやぶさ」と宇宙における「はやぶさ」いずれも、日本の技術水準の高さを世界に示しました。そこで代表的技術を実物や模型を展示するとともに開発者のエピソードをご紹介します。

[展示資料]

東北新幹線E5系「はやぶさ」模型、試験車ファステック360Sパンタグラフ(E5系のものとはほぼ同じ)、小惑星探査機「はやぶさ」模型、小惑星イトカワ模型、各技術の紹介パネルなど



試験車ファステック360Sパンタグラフ



小惑星探査機「はやぶさ」1 / 2 模型(イメージ)©JAXA

- 4 今後の「鉄道と宇宙」 ～E6系新幹線車両と小惑星探査機「はやぶさ2」～
鉄道では、E5系「はやぶさ」と併結して新在直通運転を行うE6系新幹線車両の試験走行を進めています。宇宙では、小惑星探査機「はやぶさ」の完成度をさらに向上させ、新しい目標をめざした「はやぶさ2」プロジェクトを進めています。この取り組みをご紹介します。

[展示資料]

E6系新幹線車両模型、小惑星探査機「はやぶさ2」紹介パネルなど



E6系新幹線車両(量産先行車)



小惑星探査機「はやぶさ2」(イメージ)

イラスト:池下章裕

- 5 「はやぶさ」映像ブース ～「はやぶさ」の軌跡やその魅力～
「はやぶさ」の軌跡や魅力を映像で紹介します。

[展示資料]

E5系はやぶさ走行映像、小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げから帰還映像など

6 体験展示

グランクラス座席着席体験、宇宙服レプリカ(顔はめ型)による記念撮影

グランクラス座席は、3月中旬から展示する予定です。また、着席体験は、時間限定イベントとなります。



グランクラス座席



宇宙服レプリカ

7 会場



会場レイアウトイメージ



展示イメージ